

# 労働金庫連合会〈労金連〉は、 労働金庫〈ろうきん〉の 中央金融機関です。

労金連は、協同組織の福祉金融機関である〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関として1955年に設立されました。

以来65年にわたって、〈ろうきん〉が行う金融活動を支え、〈ろうきん〉業態の健全な発展に寄与するための事業を行ってまいりました。

労金連は、今後も、「ろうきんの理念」のもと、〈ろうきん〉のセントラルバンクとしての機能を発揮するとともに、〈ろうきん〉業態の信用力の維持・向上に努めてまいります。



## シンボルマーク

〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。



# 《プロフィール》

## 労金連の概要 (2020年3月31日現在)

●店舗数	1店舗
●常勤従業員数	431人
●会員数	13労働金庫
●預金残高 (譲渡性預金含む)	7兆4,968億円
●貸出金残高	2兆5,463億円
●出資金	1,200億円
●自己資本比率 (国内基準)	21.83%

## 全国労働金庫の概要 (2020年3月31日現在)

●金庫数	13金庫
●店舗数	614店舗
●常勤従業員数	11,317人
●会員数	119,083会員
●間接構成員数	11,400,656人
●預金残高 (譲渡性預金含む)	20兆8,775億円
●貸出金残高	14兆2,011億円
●出資金	963億円
●自己資本比率 (国内基準)	(全国平均) 9.76%

\* 全国労働金庫の数値は速報値

※本誌は労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条の規定に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。

# CONTENTS

ごあいさつ	02
ろうきんの理念	04
<b>1. 福祉金融機関(ろうきん)</b>	
〈ろうきん〉の基本姿勢	06
〈ろうきん〉の社会的役割	07
労金連の役割	08
ろうきん相互支援制度	10
〈ろうきん〉のCSR	12
〈ろうきん〉の経営	13
〈ろうきん〉の不良債権の状況	13
〈ろうきん〉の自己資本比率	14
沿革・あゆみ	15
<b>2. 2019年度の事業の概況</b>	
2019年度の事業の概況	18
トピックス	21
<b>3. CSR経営の推進</b>	
CSR経営の推進	26
社会貢献活動 ろうきん森の学校	28
<b>4. 経営管理体制</b>	
第9期中期経営計画・2020年度事業計画	32
経営方針	34
業務の適正を確保するための体制	35
お客さま本位の業務運営に関する方針	38
労金連のESG投融资原則	41
顧客保護等管理方針	42
苦情等への対応(金融ADR制度への対応について)	42
個人情報保護の取組み	43
利益相反管理方針の概要	45
金融円滑化の取組み	46
反社会的勢力に対する基本方針	47
金融商品に関する勧誘方針	47
確定拠出年金運営管理業務に関する勧誘方針	47
証券業務に関する倫理コード	48
労働金庫電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針	49
経営体制	51
リスク管理の体制	52
業務継続態勢	55
コンプライアンスの体制	56
内部監査の体制	60
<b>5. 業務のご案内</b>	
主要な業務の内容	62
総合事務センター	68
<b>6. 労金連の概要</b>	
業務組織図	70
役員	71
職員の状況	72
会員の内訳	72
出資会員	72
<b>7. 財務資料編</b>	
単体財務諸表	74
諸比率	84
自己資本の充実の状況(単体・連結)	86
不良債権の状況(単体)	101
資産査定に係る各種基準の比較表	102
報酬等に関する事項(単体)	104
預金に関する指標	105
貸出金等に関する指標	106
有価証券に関する指標	107
有価証券等の時価情報	108
デリバティブ取引情報	110
連結情報	111
連結財務諸表	113
不良債権の状況(連結)	122
報酬等に関する事項(連結)	122
連結セグメント情報	122
会計監査人の名称	122
事務所の所在地	124
全国(ろうきん)のお問い合わせ先一覧	125
索引	126



平素より、私ども労働金庫連合会〈労金連〉に対しまして、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度の新型コロナウイルス感染症により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている多くの皆さまに、心より感謝を申し上げますとともに敬意を表します。

ろうきん業態におきましても、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方々の生活支援に取り組んでいます。日本および世界各国における感染拡大の早期収束を切に願っております。

このディスクロージャー誌「労働金庫連合会2020」は、労金連の機能や役割、業績、ろうきん業態などについて紹介しています。本誌によって労金連ならびにろうきんに対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

ろうきんは、勤労者による勤労者のための金融機関として、今からちょうど70年前に誕生しました。以来、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」という理念を掲げ、働く人々に寄り添い、その日々の暮らしを支援してまいりました。

労金連は、全国13の〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関として、ろうきんらしい商品やサービスの開発・提供、〈ろうきん〉間の資金需給調整、〈ろうきん〉の余裕資金の効率的な運用、業態統一オンラインシステム「オール・ワンシステム」の開発・運営など、〈ろうきん〉が行う金融活動を支える役割を担っています。

労金連の2019年度の業績は、総資産10兆7,294億円、預金残高7兆4,968億円、当期純利益121億円、自己資本比率21.83%となりました。現在の金融経済環境や資金調達状況を踏まえ、低金利への対応として投資対象の拡大を図ったことなどにより、当期純利益は計画を上回る水準を確保することができました。

ろうきんは、2019年3月にSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みを強化するため、「ろうきんSDGs行動指針」を策定し、取組みを進めてきています。SDGsの「誰一人取り残さない」という基本原則や「金融包摂」という考え方は、ろうきんのこれまでの歩みやろうきんの理念・ビジョンと合致するものです。こうした中、ろうきんが実践している

SDGsに貢献する活動を紹介し、会員や勤労者など様々なろうきんを支えてくださる皆さまとの「共感の輪」を広げていくため、「ろうきん SDGs Report 2020」を発行しました。

また、「ろうきんSDGs行動指針」では、勤労者の大切な資金を「意思のあるお金」として、社会や環境等に配慮したESG投資などを通じ、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていくことを掲げています。

労金連では、2017年9月、ろうきん業態を代表して、国連が提唱する責任投資原則(PRI)に署名しました。また、常務会の下に設置した「ESG投融資推進委員会」により、ESG課題のポジティブな評価による投資(グリーンボンドやソーシャルボンド等の債券、ESG優良企業への株式投資、ESGファンド投資等)を積極的に行い、2019年度末のESG投資残高は677億円となりました。2020年4月には、ESG投融資を一層進め、内容の充実を図る観点から、「労金連のSRI(社会的責任投資)原則」(2010年4月制定)を見直し、新たに「労金連のESG投融資原則」を制定しました。引き続き、持続可能な社会を目指す金融の担い手として、ESG課題を考慮した取組みを実践してまいります。

ろうきんでは、「財形貯蓄」や「iDeCo」、「つみたてNISA」といった勤労者に適した制度の有効活用などを提案しながら、勤労者の生涯にわたるライフプランや資産形成をサポートしています。

労金連が選定する投資信託では、わかりやすく信託報酬の低い商品やESG課題を考慮した商品など、60以上の商品を揃えています。iDeCoにつきましては、加入件数が2020年5月末で18万件を超え、金融機関の中でもトップクラスの実績をあげています。各商品のラインナップ・販売実績などは「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況として、労金連のウェブサイトにて公表しています。

2020年度は、人生100年時代の到来などを踏まえ、これまでの取組みを発展させた「勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言」を掲げ、勤労者の多様なニーズに適した資産形成の取組みを発信していきます。

お客さまサービス向上に向けた取組みとして、2019年10月、スマートフォンで手軽に残高やお取引状況をご確認いただける「ろうきんアプリ」の提供を開始しました。ダウンロード数は2020年5月末までに38万件を超えました。QRコード決済や家計簿アプリとの連携等への対応も順次行っております。今後もお客さまにより便利・快適にご利用いただけるよう、サービス拡充に努めてまいります。

労金連が2005年に開校した「ろうきん森の学校」は、2019年度までの参加者が20万人を超えました。「森づくり」から「人づくり」、「地域づくり」につながる活動を続けており、2020年2月には、「人づくり」をテーマに、15周年記念イベント「自分として生きることをみんなで考える会～森のそばで暮らす中で見えてきた世界～」を開催しました。今後も、全国5地区のNPOと協同し活動を展開してまいります。

2020年度は、ろうきんが目指す姿を描いた「ろうきんビジョン～人々が支え合う共生社会の実現のために～」に向けた第9期中期経営計画(2018～2020年度)の最終年度となります。労金連は、「中央金融機関としての役割・機能」を最大限に発揮し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の社会経済のあり方の変化に柔軟に対応しながら、勤労者の人生100年時代に対応した資産形成促進の取組み、デジタル化の急速な進展に伴う商品・サービス・チャネル戦略の強化や新たなIT技術の活用などを通じて、引き続き業態の共通課題である事業基盤の深化・拡大を図り、勤労者の生活向上というろうきんの使命を徹底追求してまいります。

本年も、皆さまの一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月

理事長 中江 公人

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する  
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および  
文化にかかわる活動を促進し、  
人々が喜びをもって共生できる  
社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による  
団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、  
運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、  
健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

